

佐世保工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	日本語
科目基礎情報					
科目番号	0090		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1	
教科書/教材	「時代を読み解く上級日本語 (第2版)」				
担当教員	堀上 志都子				
到達目標					
1. 中級後期～上級段階の文型・語句を習得する。 2. 長文 (新聞記事等) の内容を的確に把握できるようになる。(速読を含む) 3. 長文の内容について教師の質問に答えられるようになる。 4. 長文の内容に関連して自分の考えが記述できるようになる。 5. 長文の内容を自国の状況と比較して説明できるようになる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1(達成目標1)	本文中の文型・語句を使って、自由に短作文できる。	本文中の文型・語句を使って、似た文章を作ることができる。	本文中の文型・語句を使って、自由に短作文できない。		
評価項目2(達成目標2, 3)	本文の内容を的確に把握し、教師の質問にキーワードを使って答えることができる。	本文の内容を把握し、教師の質問の箇所を理解し、答えることができる。	本文の内容をが分からず、教師の質問に答えることができない。		
評価項目3(達成目標4, 5)	本文の内容を自国の状況と比較して説明でき、それを長文にまとめることができる。	本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができる。	本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	日本社会の現状について書かれた文章を題材として、日本語の語句の意味・用法を学習するとともに、読解力・発話力・作文力の向上を図る。				
授業の進め方・方法	予備知識：日本語中級前期までの文型・語句の知識 講義室： 授業形式：演習形式 学生が用意するもの：辞書、ノート、テキスト				
注意点	評価方法：出席・授業態度(20%)、中間・期末試験(40%)、発表・レポート等(40%)で評価し、60点以上を合格とする 自己学習の指針：テキストを中心として毎回授業の予習・復習に取り組み、積極的に質問してください。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・2課	新しい結婚の形を考える	
		2週	2課 遠距離結婚	"	
		3週	3課 未婚の男性が急増	母国と日本の未婚男性について考える。	
		4週	"	"	
		5週	7課 ノーマライゼーションの地域を作る	地域再生について考える	
		6週	"	"	
		7週	総合練習	復習と作文 (長文)	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	9課 野菜産地の悩み	外国人労働者受け入れの現状について学ぶ。	
		10週	"	"	
		11週	10課 高齢社会は怖くない	高齢化社会について、その問題点と解決策を考える。	
		12週	"	"	
		13週	12課 問われる学力観	母国と日本の「学力観」について考える。	
		14週	総合練習	復習と作文 (長文)	
		15週	期末試験		
		16週			
後期	3rdQ	1週	14課 メディア機器・IT機器の影響	インターネット等の子供への影響について考える。	
		2週	"	"	
		3週	15課 日本型雇用システム(1)	母国と日本の「雇用契約」について考える。	
		4週	"	"	
		5週	16課 日本型雇用システム(2)	母国と日本の「賃金制度」について考える。	
		6週	"	"	
		7週	総合練習	復習と作文 (長文)	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	19課 新卒外国人が変える日本	企業の外国人採用について考える。	
		10週	"	"	
		11週	23課 人間のおごり	東日本大震災時から今までの科学に対する認識の変化をまとめる。	
		12週	"	"	
		13週	24課 エビデンスと現実の直視	「エビデンス」の必要性について考える。	
		14週	総合練習	復習と作文 (長文)	

		15週	期末試験	
		16週		
評価割合				
	出席	中間・期末試験	発表・レポート等	合計
総合評価割合	20	40	40	100
基礎的能力	0	40	40	80
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	20	0	0	20